

令和3年9月15日
駒澤大学附属苫小牧高等学校

令和3年度 第2学年見学旅行保護者説明会 質問・回答について

【学校方針説明(校長)】

見学旅行については、現在実施する方向で準備を進めている。見学旅行は重要な学校行事であり、研修で実施する「平和学習」は大きな意義がある。また、仲間と寝食を共にする経験は大きな思い出になると思う。見学旅行の実施については、ご理解ご協力をお願いしたい。ただ、実施時期に研修先で緊急事態宣言が発令された場合は、「延期」あるいは「中止」と考えている。

感染者を出さない一番の方法は、参加生徒一人一人がマスクの着用・手指の消毒・黙食などの基本的な感染予防策が徹底できるかが重要である。学校も生徒に対して指導を徹底するが、保護者の皆様にもご協力いただきたい。

(現時点での実施理由)

- ①交通機関は、各会社が徹底した感染予防対策を講じている。
- ②宿泊施設は、1校1館での契約であり、徹底した感染対策を講じている。
※今回利用する宿泊施設では、現在まで感染者を出していない。
- ③自主研修は実施しないため、引率教員の管理下での研修である。
※USJは、入場制限など国のルールに従い運営されている。

Q: 不参加の場合の生徒の取り扱いはどうなるのか。欠席になるのですか？

A: 参加できない生徒は旅行期間中に登校して学習することになっていますので、出席扱いとなります。

Q: 研修先は医療現場がひっ迫しており、そういう所に行くこと自体が不安だが、学校はどのように考えているのですか？

A: 学校として、沖縄や広島での平和学習という貴重な体験を高校生活の中で経験させてあげたい。また、コースを変更した場合、1校1館での宿泊場所先の確保が難しいことから、現在のコースで実施したい。ただ、状況が悪化し厳しいと判断した場合は、延期や中止も考えています。

なお、沖縄で勤務する医師に沖縄の現状を確認したところ、感染者は多いが大半が飲食(居酒屋やスナック・カラオケ等)による感染であり、本校のような滞在であれば感染する可能性は少ないのではないかとのことでした。

また、沖縄で万が一感染した症状が発症するのは苫小牧に戻ってからと考えられます。そのため見学旅行終了後の3日間(10/29～10/31)を自宅待機(休養期間・部活動休止)を設けていますので、保護者の皆様におかれましては、お子様の健康状態に注意をお願いいたします。

【ワクチン接種について】

Q: 参加生徒に優先接種の対応はないのか？

A: 現在、学校独自の集団接種を予定、2年生は154名の生徒が接種予定。
既にワクチン接種が完了した生徒36名と合わせると2年生は少なくとも190名が1回目のワクチン接種を完了する予定です。

Q: ワクチン接種後に見学旅行を実施しないのか？

A: 苫小牧市の10代へのワクチン接種券配布は、今月末から10月8日までの予定。接種券が手元に届き、接種するまでには10日ほど必要となるため、10月17日実施を予定しているの早い方と考えられます。なお、2回接種後に出発することは、苫小牧市のワクチン接種の現状から判断して難しいと考えられます。

Q: 参加者が接種を終了していない場合でも見学旅行は実施するのか？

A: 参加生徒の7割が1回もしくは2回接種をしていること、交通機関や宿泊施設での感染対策が徹底していること、学校関係者以外の人と接触する機会があまりないことから感染リスクを避けることができると判断できることからワクチン接種が終了していない場合でも見学旅行は実施については問題ないと判断しています。
また、政府が進めているPCRモニタリング検査に学校として参加する予定です。検査は、旅行出発前に2回、旅行終了後に1回実施され、より安全に見学旅行を実施することができます。

Q: 生徒のワクチン接種後に見学旅行を実施しないのか？

A: 生徒の接種後に実施を考えた場合、10月末以降での実施となる為、感染予防が徹底された宿泊施設の確保などが困難となります。総合的に考えても10月末での実施が現状では一番好ましいと考えています。

Q: 10月17日に予定されている学校での集団接種に部活動の都合により接種ができない生徒は、いつ接種できますか？

A: 21日(木)の午後からおおはた内科クリニックで接種が可能である。
サッカー部は、試合のためワクチン接種ができないまま旅行に行くことになる。
接種については、個人差は出てしまうので、学校での集団接種が難しい場合は、各自で接種可能な医療機関を探し予約していただきたい。
18日(月)または19日(火)ならおおはた内科クリニックでいくつか枠があるので、問い合わせていただきたい。

【発熱者発生時の対応について】

Q: 感染者が出た場合は、どのような対応になるのか？

A: 宿泊施設で発熱者が出た場合、すみやかに別室で隔離する措置を講じます。
また、感染者の対応については、現地の保健所と連携して対応し、療養施設に移送される場合は、保護者が来るまでは、教員が責任を持って対応いたします。
なお、引率教員、添乗員より感染者が発生した場合は、必要に応じて学校から応援の教員を呼び寄せるなど生徒に不利益が生じないように対応します。

Q: 出発直前に接種後の副反応により発熱した場合は、参加できないのですか？

A: 出発当日に発熱症状があった場合は、参加を取りやめていただきたい。
副作用については、多くは翌日、少なくとも2, 3日のうちに発熱などの症状がでるので、17日に接種した場合は、出発日に発熱する可能性は少ないと思われる。
できるだけ子どもたちが不利にならないよう検討していきます。

Q: 旅行先で感染した場合、すぐに保護者が行くのですか？

A: 引率教員が対応いたしますが、保護者の方にはすぐに現地に来ていただきます。

Q: 保護者が迎えに行く場合、保護者が濃厚接触者になっている場合でも保護者が行くのですか？

A: 様々なケースが考えられますが、保健所と連携しながら対応していきます。
教員が残って対応しますので生徒が一人になることはありません。

【感染予防対策について】

Q: 交通機関における感染予防対策はどうなっていますか？

A: 交通機関を利用している際は、マスク着用を徹底させます。貸切バスは乗車時に手指消毒を実施し、車内は5分程度、新幹線は、6から8分程度、飛行機は3分程度で内部の換気が完了しますので、特に問題はありません。

Q: 食事会場における感染予防対策はどうなっていますか？

A: 食事会場内の換気が徹底されています。隣の座席と間隔を十分に空け、対面で食事をとらないようにしています。コップや箸等の洗浄に徹底され、必要に応じて使い捨てのものを使用し感染リスクを軽減する取り組みをしています。
: また、大阪では、部屋食(弁当対応)のため外部との接触がありません。

Q: 浴室における感染予防対策はどうなっていますか？

A: 宿泊施設は、ホテルなので居室内に設置されている浴室を利用します。
ただ、大浴場を使用する場合には、密を避けるため時間をずらしています。

Q: 宿泊施設における感染予防対策はどうなっていますか？

A: 国のルールにしたがい利用者人数を設定しています。

沖縄は、1部屋当たりの利用人数は多いが、リゾートホテルのため他の宿泊施設より居室スペースは広く密にはならない。

Q: 不織布マスクの使用を徹底してもらうことは可能ですか？

A: 学校に2千枚不織布マスクを保管しており、旅行団も持参いたします。

※見学旅行では不織布マスクの着用を指導いたします。持っていない生徒には配布しマスクの着用を徹底させていただきます。

【本校の感染状況について(養護教諭)】

夏休み明けに感染した生徒がいたのは事実だが、家庭内感染が主な要因であり、学校生活の中で感染が広がった事実はありません。見学旅行中は、教員と一緒に行動して注意喚起をすることもあり、外部との接触がなければ感染の可能性は低いと思われる。旅行1週間前くらいから家庭での健康観察をしっかりと、安心した状態で参加することができると思います。

【キャンセル料について】

Q: キャンセル料は、いつから発生しますか？

A: 10月2日(土)からキャンセル料が発生します。

10月2日～14日＝旅行代金の20%

10月15～21日＝旅行代金の30%

10月22～23日＝旅行代金の40%

10月24日＝旅行代金の50%(出発後のキャンセルは100%)

ただし、10月1日(金)までにキャンセルした場合には、キャンセル料は発生いたしません。ただし、その日(10/1)までに必ず学校(クラス担任)へ連絡してください。
なお、参加者が減った場合に、旅行代金が上がる場合もあります。

Q: ワクチン副反応で不参加の場合もキャンセル料は通常通りですか？

A: 通常のキャンセル料を負担いただきます。